

大切な水

中尾 茉夢

小郡市立 大原小学校

わたしは、六月十三日に社会科見学で宝満川浄化センターへ行きました。宝満川浄化センターの役割りは、汚れた水をきれいにして宝満川に流す事です。

そこで、心にのこった事があります。それは、活性という生物が汚れた水を食べてくれる事です。この活性のおかげで、汚れていた水がどんどんきれいになっていくのです。その活性をしずめる最終ちんでん池もあります。

水をきれいにするには、約十二時間かかります。これは一日の半分の時間を使っている事になります。わたしは、この事を聞いて、水がきれいなのは当たり前じゃないんだと知る事が出来ました。

次に、浄化センターの仕事についてです。仕事は大きく分けて五つあります。それは、水質試験、監視、保守・点検、しゅうぜん、記録・報告です。保守・点検により不具合があった物をしゅうぜんし、でき正な運転管理を行っています。これら五つの仕事の一つ一つの中に、いろいろな人たちが役割分担をして働いています。

このように、たくさんの人達が、たくさん時間と手間をかけて、水をきれいにしてくれています。わたしはこの事を知って、水が前よりもとても大切に思えました。

今までは、とくに何も思わず使っていたけれど、見学に行くと水がとても貴重に思えました。わたしは歯みがきをする時、いつもコップ

に必要な量の水を入れて口をすすいでいます。コップを使う事でむだになってしまう水がなくなります。これからも続けようと思います。